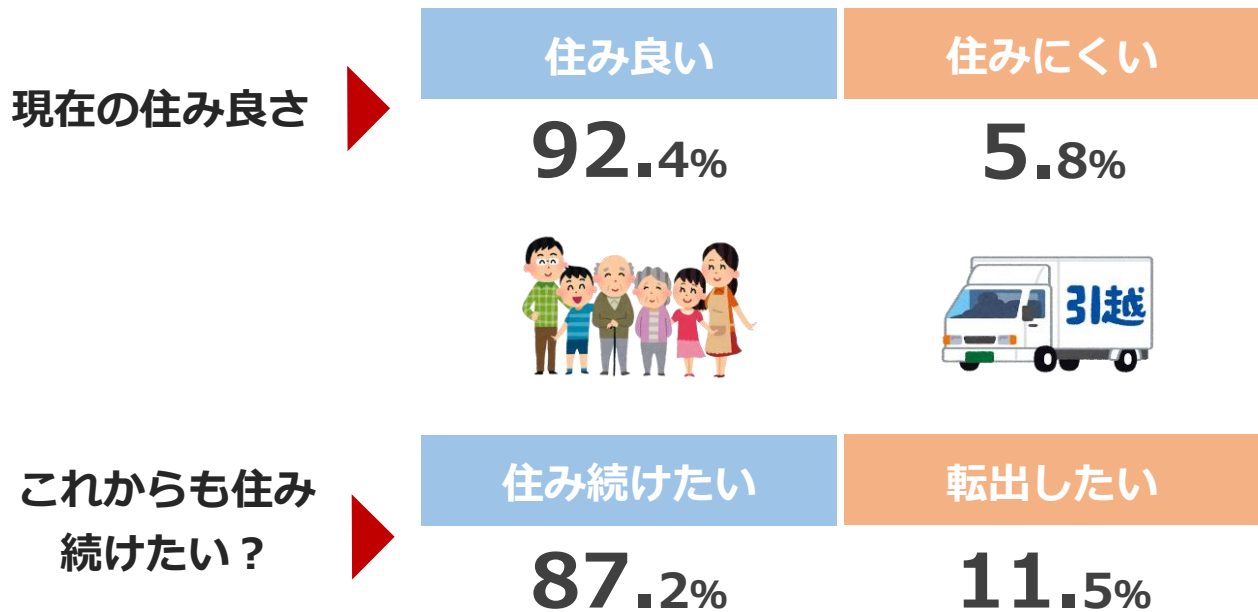


令和元年度まちづくりに関する
アンケート結果報告書
【概要版】

令和2年3月
日出町政策推進課

日出町の住み良さをどのように感じていますか



住み続けたい理由



- | | | |
|---|------------------|-------|
| 1 | 海・山など自然に恵まれているから | 55.8% |
| 2 | 住み慣れており愛着があるから | 38.7% |
| 3 | 買い物など日常の生活に便利だから | 34.6% |






転出したい理由



- | | | |
|---|------------------|-------|
| 1 | 買い物など日常の生活に不便だから | 27.0% |
| 2 | 通勤・通学に不便だから | 22.5% |
| 3 | 働く場所が少ないから | 21.3% |






日出町が他に誇れる、地域の資源・強みは何？

	豊かな自然	60.3%
	自然災害の少なさ	52.2%
	交通の便（立地条件）の良さ	26.9%



・「豊かな自然」と回答した割合が 60.3%で最も高く、次いで「自然災害の少なさ」が 52.2%、「交通の便の良さ」が 26.9%となっています。




日出町のめざすべき将来像として、特に重要だと思うことは？

	豊かな自然が守られているまち	38.8%
	各世代に応じた健康づくりがすすめられ、適切な医療サービスを受けることができるまち	38.5%
	子どもを安心して産み育てられる環境が整い、地域の見守りの中で子どもが健やかに育っているまち	32.3%



・「豊かな自然が守られているまち」と回答した割合が 38.8%で最も高く、次いで「各世代に応じた健康づくりがすすめられ、適切な医療サービスを受けることができるまち」が 38.5%、「子どもを安心して産み育てられる環境が整い、地域の見守りの中で子どもが健やかに育っているまち」が 32.3%となっています。

日出町が新たに力を入れて取り組むべき施策は？

	将来的に日出町への移住につながる「関係人口」の創出・拡大	38.8%
	地域づくりを担う人材育成のための教育や支援施策の推進（高校教育の充実など）	26.0%
	誰もが活躍できる社会の構築（高齢者や障がい者の雇用促進、外国人材の活躍支援など）	24.2%



・「将来的に日出町への移住につながる「関係人口」の創出・拡大」と回答した割合が 38.8%で最も高くなっています。次いで、「地域づくりを担う人材育成のための教育や支援施策の推進」が 26.0%となっています。

人口減少が続いた場合、将来に向けて気になることは？

1	社会保障費（医療、介護、年金など）などの働き手一人あたりの負担の増大	56.7%
2	空き家、耕作放棄地の増加や森林の荒廃	44.8%
3	スーパーなどの店舗や病院・診療所の撤退	30.5%



・「社会保障費（医療、介護、年金など）などの働き手一人あたりの負担の増大」と回答した割合が56.7%で最も高く、次いで「空き家、耕作放棄地の増加や森林の荒廃」が44.8%となっています。

人口減少に歯止めをかけるために必要なことは？

1	若者や子育て世代の雇用を確保し、生活基盤を安定させること	51.7%
2	雇用の受け皿となる地場産業の育成や企業誘致を促進すること	41.0%
3	妊娠期から乳幼児期までの医療の充実や、保育所等の子育て環境を整備すること	33.4%



・「若者や子育て世代の雇用を確保し、生活基盤を安定させること」と回答した割合が51.7%で最も高く、次いで「雇用の受け皿となる地場産業の育成や企業誘致を促進すること」と回答した割合が41.0%となっています。




子どもの数を増やしていくために、どんな支援・対策が有効？

1	正規雇用の推進など若い世代の経済的安定化	52.6%
2	保育園や認定こども園の整備など働きながら子育てできる環境整備	44.1%
3	保育料や幼児教育費、子ども医療費の減免など経済的負担の軽減	32.5%



・「正規雇用の推進など若い世代の経済的安定化」と回答した割合が52.6%で最も高く、次いで「保育園や認定こども園の整備など働きながら子育てできる環境整備」が44.1%です。




保健・福祉分野を充実するために、特にどの部分に力を注ぐべき？

 1	予防医療（各種検診、予防接種等）の充実	29.4%
 2	健康増進の促進	25.4%
 3	子育て家庭への経済的支援の充実	20.9%



・「予防医療（各種検診、予防接種など）の充実」と回答した割合が 29.4%で最も高く、次いで「健康増進の促進」が 25.4%、「子育て家庭への経済的支援の充実」が 20.9%となっています。




教育・文化・スポーツ活動を活発するために力を注ぐことは？

 1	図書館、公民館、文化会館、スポーツ施設など活動拠点の整備・充実	33.5%
 2	指導者の育成や相談体制の充実	22.8%
 3	幼稚園・義務教育の充実	22.0%



・「図書館、公民館、文化会館、スポーツ施設など活動拠点の整備・充実」と回答した割合が 33.5%で最も高く、次いで「指導者の育成や相談体制の充実」と回答した割合が 22.8%、「幼稚園・義務教育の充実」と回答した割合が 22.0%となっています。

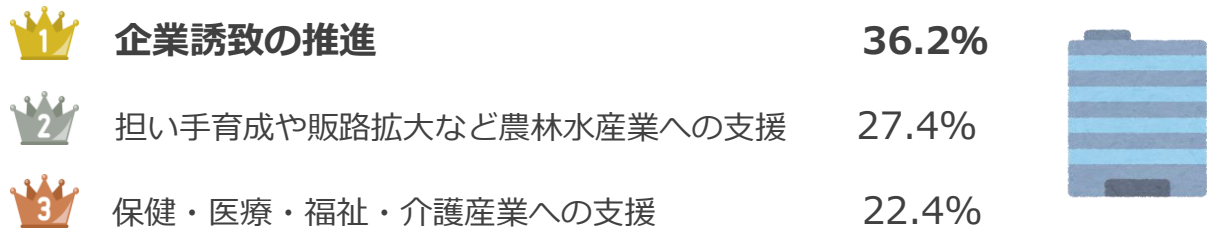
安全・安心なまちをつくるために力を注ぐことは？

 1	防災のための情報提供及び伝達システムの充実	31.8%
 2	要配慮者の実態の把握や緊急連絡体制、避難誘導などの防災体制の整備	27.1%
 3	災害危険個所や避難場所などの防災情報の提供	24.5%



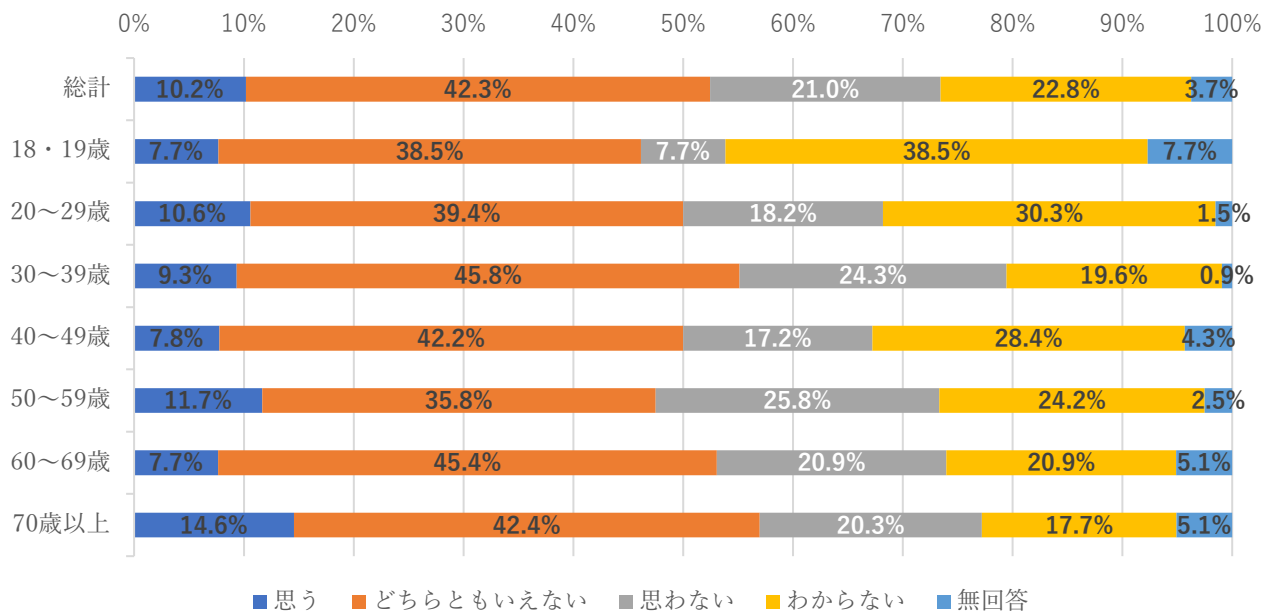
・「防災のための情報提供及び伝達システムの充実」と回答した割合が 31.8%で最も高く、次いで「要配慮者の実態の把握や緊急連絡体制、避難誘導などの防災体制の整備」と回答した割合が 27.1%、「災害危険個所や避難場所などの防災情報の提供」と回答した割合が 24.5%となっています。

産業振興について、今後どのようなことに力を注ぐことは？



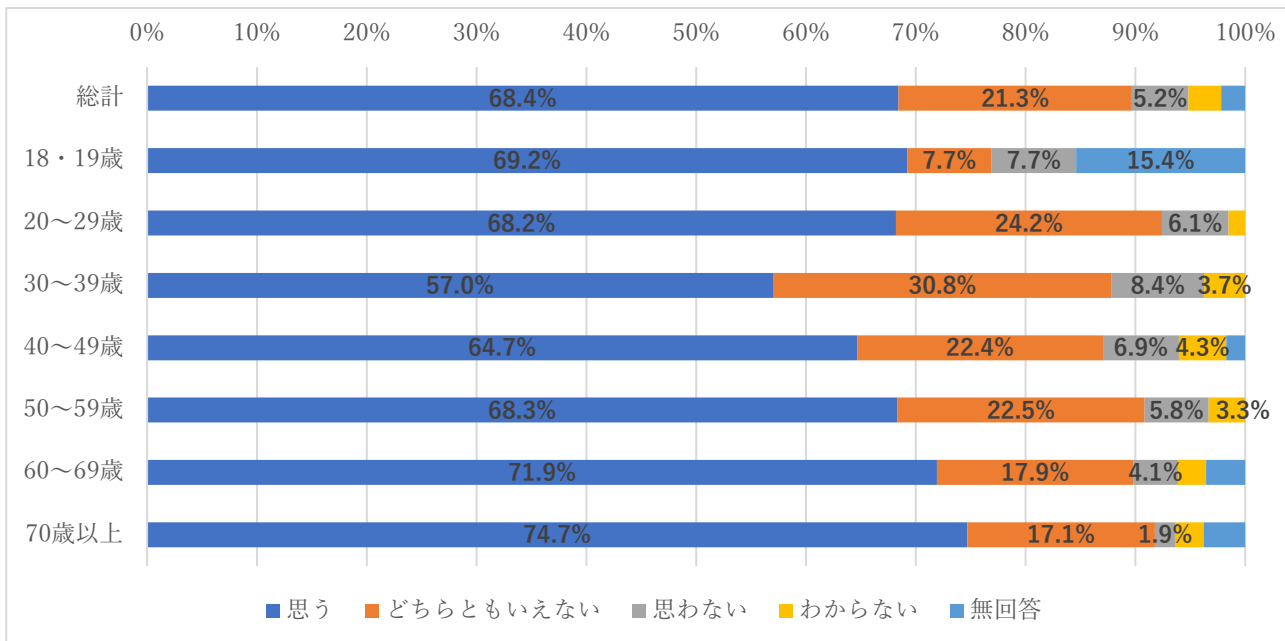
- ・「企業誘致の推進」と回答した割合が 36.2%で最も高く、次いで「担い手育成や販路拡大など農林水産業への支援」と回答した割合が 27.4%、「保健・医療・福祉・介護産業への支援」と回答した割合が 22.4%となっています。

町民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思いますか



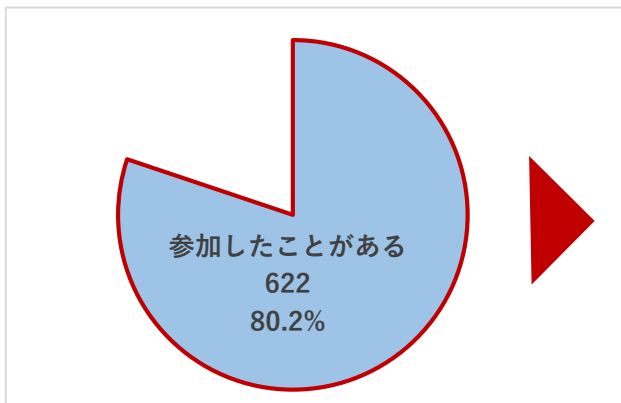
・「現在の日出町は、町民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思う」と回答した割合は10.2%で、「思わない」と回答した割合の21.0%よりも低い結果となっています。

住み良いまちにするには、地域・町民活動は大切だと思いますか



・「地域活動や町民活動（区や自治会・公民館の活動やボランティア活動など）は大切だと思う」と回答した割合は68.4%で最も高く、「思わない」と回答した割合は5.2%となっています。

町民活動やボランティア活動に参加したことがありますか



< 参加したことある活動内容 >

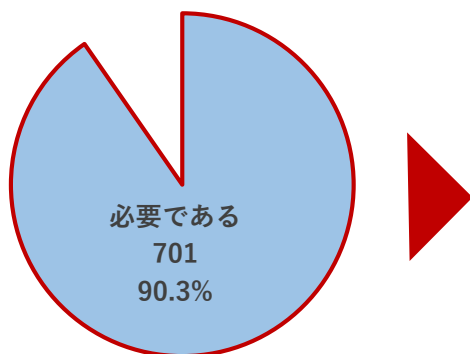
清掃・環境美化活動	65.8%
区・自治会・公民館等の活動	65.0%
子ども会活動	43.7%
防犯・防災活動	28.1%
趣味のサークル活動	20.3%

・「町民活動やボランティア活動に参加したことがある」と回答した割合は 80.2%で、「参加したことがない」と回答した割合は 17.5%となっています。

・参加したことのある活動内容は、「清掃・環境美化活動」と回答した割合が 65.8%で最も高く、次いで「区・自治会・公民館等の活動」が 65.0%、「子ども会活動」が 43.7%となっています。



地域にあったほうがよいと思う町民活動やボランティア活動は？



< 参加したことある活動内容 >

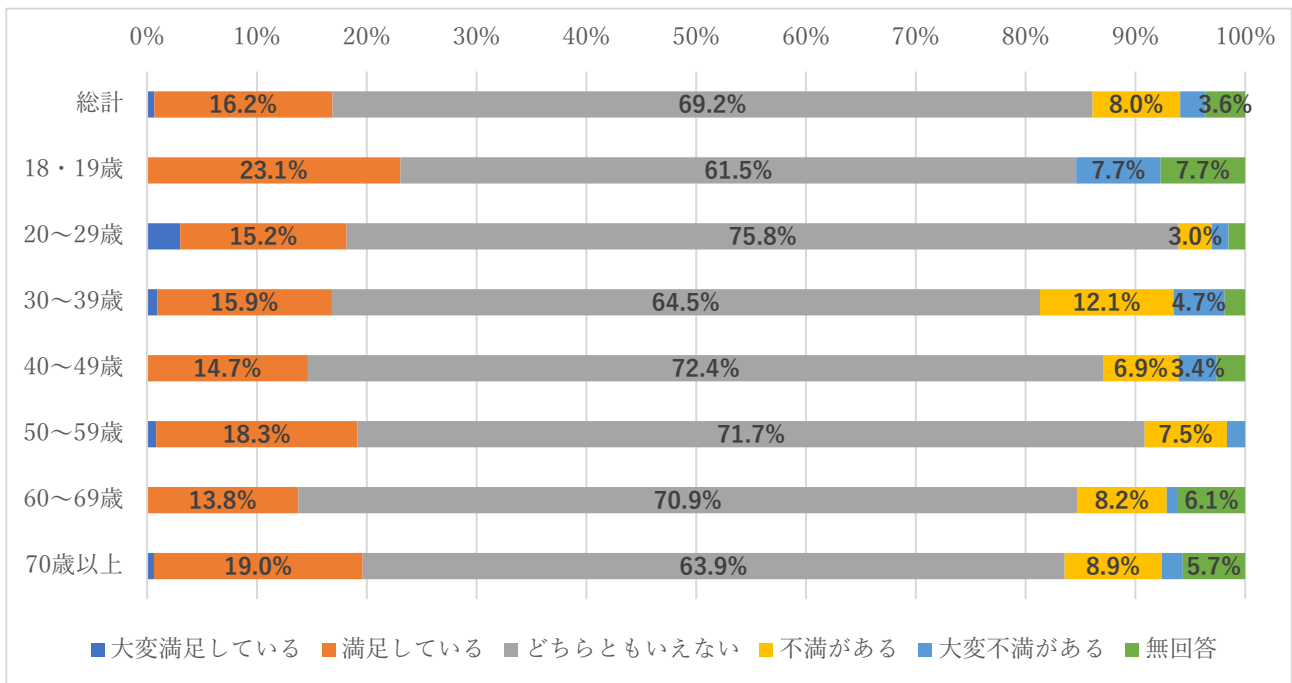
防犯・防災活動	38.8%
清掃・環境美化活動	38.7%
見守り・話し相手の活動	30.0%
健康増進のための活動	29.0%
区・自治会・公民館等の活動	23.5%

・「町民活動やボランティア活動は必要である」と回答した割合は 90.3%に対し、「特に必要ない」と回答した割合は 6.1%となっています。

・参加したことのある活動内容は、「防犯・防災活動」と回答した割合が 38.8%で最も高く、次いで「清掃・環境美化活動」と回答した割合が 38.7%、「見守り・話し相手の活動」と回答した割合が 30.0%となっています。

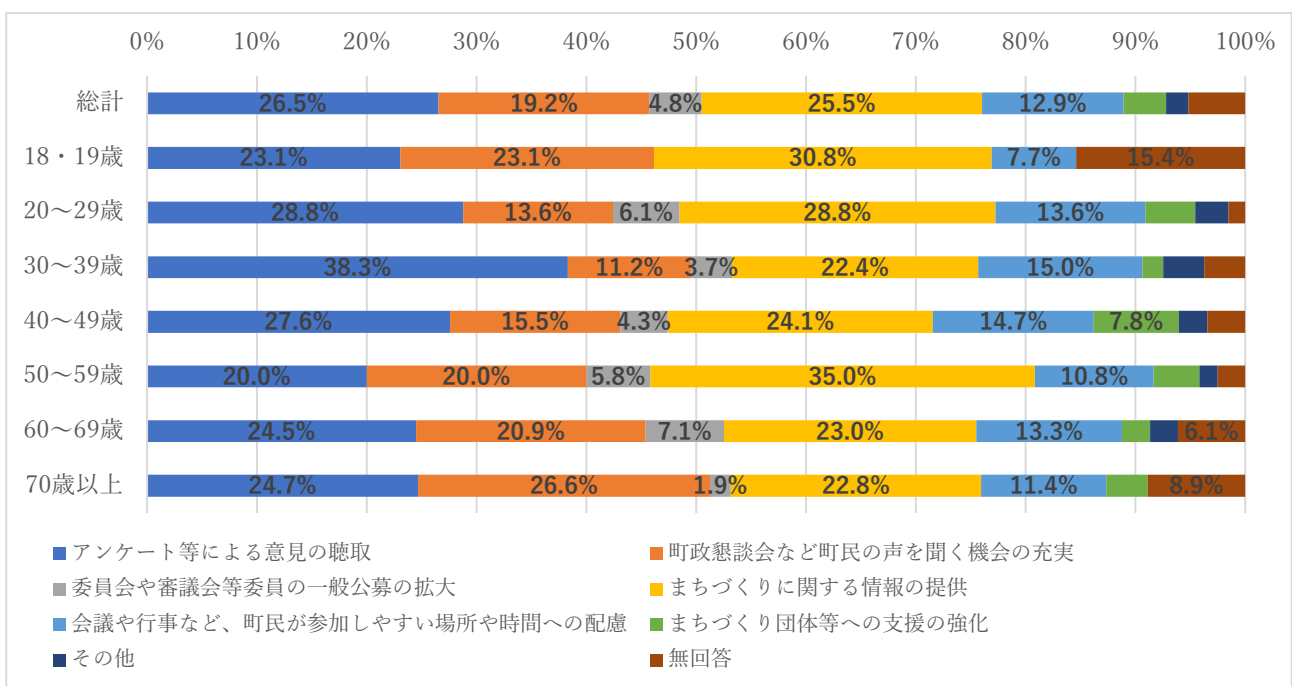


町政への意見・提言の機会や手段・方法に満足していますか






・「町民参加の取組について、現在の町政への意見・提言の機会や手段・方法に大変満足している」と回答した割合が0.6%、「満足している」が16.2%となっており、「どちらともいえない」と回答した割合が69.2%で最も高い結果となっています。

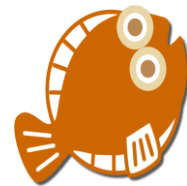
町民参加を推進するためには、どのようなことに力を注ぐべき？



・「アンケート等による意見の聴取」と回答した割合が26.5%で最も高く、次いで「まちづくりに関する情報の提供」が25.5%となっています。




町からの情報やお知らせをどのようにして受け取りたいですか

 1	日出町広報誌「広報ひじ」	71.6%
 2	自治会（区）からの回覧	30.5%
 3	町からのパンフレットやチラシの配布	22.2%



・「広報ひじ」と回答した割合が71.6%で最も高く、次いで「自治会からの回覧」が30.5%、「町からのパンフレットやチラシの配布」が22.2%となっています。

もっと町から発信してもらいたいと思う情報は？

 1	健康づくり・医療に関する情報	29.9%
 2	介護や福祉に関する情報	26.7%
 3	防災、防犯などに関する情報	21.6%

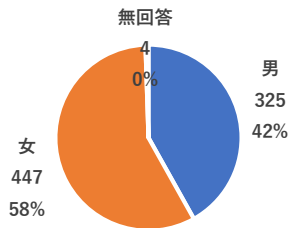


・「健康づくり・医療に関する情報」と回答した割合が29.9%で最も高く、次いで「介護や福祉に関する情報」が26.7%、「防災・防犯などに関する情報」が21.6%となっています。

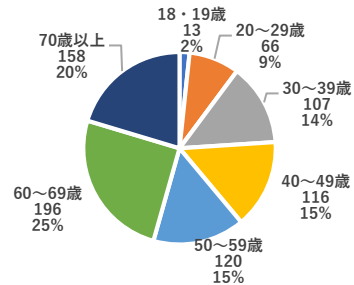
調査対象者の構成

多くの町民の皆さまにご協力いただき、ありがとうございました

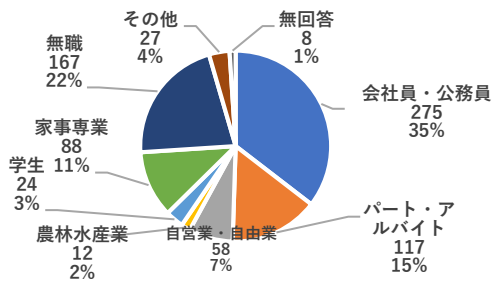
性別



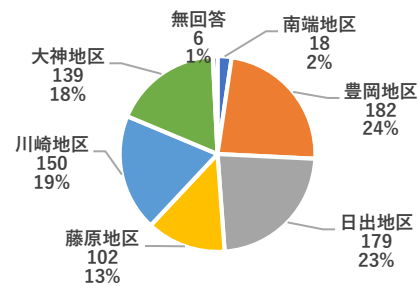
年齢



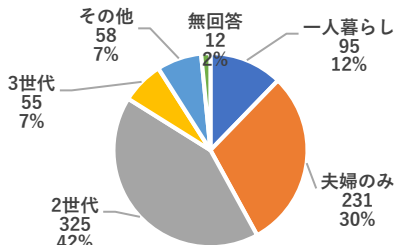
職業



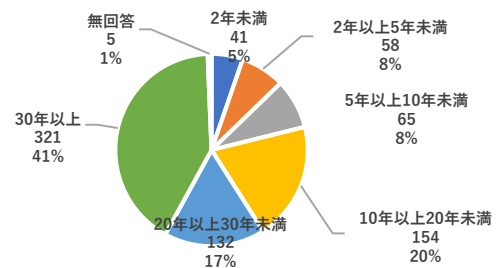
居住地



家族構成



居住年数



「日出町まちづくりアンケート」の概要

調査目的	次年度の総合計画の見直しと新たな総合戦略を策定に向け、町民の皆さまの考えを把握するため
調査期間	令和元年10月1日（火）～10月18日（金）
調査の対象	住民基本台帳に記載された18歳以上の町民2,000人（町内全域）
調査方法	郵送による調査票の配布、回収（無記名回答）
回収数（率）	776（38.8%）